



ネパール式の石垣を利用した花壇とステージ



世界そば博覧会でラマダンスを披露



曼荼羅の制作風景

DATA・BOARD ⑮

- ①富山県東礪波郡利賀村上島
- ②広場面積：14,016㎡、建物面積：916,67㎡
- ③JR高山本線越中八尾駅からバスで60分、JR城端線礪波駅から車で約60分、北陸自動車道礪波ICから車で約60分、同富山ICから車で約60分
- ④合掌文化村（富山県利賀 芸術公園）、そばの郷、利賀そばの郷温泉、郷土玩具美術館ほか
- ⑤各種ミニイベントの開催（和楽器、ネパール料理など）、ど〜んと利賀の山祭り、利賀そば祭りほか



利賀村では、そばの花が縁になりネパール王国のツクチエ村と友好村提携を行っている。

「瞑想の郷」は、利賀村とツクチエ村との異文化交流の拠点として整備されたもので、施設内には研修施設、宿泊施設、食事施設、花マンダラ(庭園)などが設けられており、両村の伝統文化の融合から、利賀オリジナルともいべき施設デザインで施工されている。また、ツクチエ村のサシ・ドージ・トラチャン曼荼羅絵師を招き、二枚の曼荼羅と二枚の仏画を完成させ、瞑想の館に展示している。

ネパール式の石垣を利用した花壇やステージは、建物と調和して落ち着いた雰囲気醸し出し、訪れた人々に安らぎを与えている。

滞在型の農業体験の場としても使用されているほか、各種のイベント会場にも利用されており、地域にある昔からの文化と異国の文化が交流する施設となっている。